

# デートDVを 知っていますか

## 法政大学多摩学生相談室

場所/総合棟2階

キャリアセンター隣

開室時間/月～金 9:30～16:30

相談室は予約制です

電話/042 - 783-2158



## デートDVとは



DV（ドメスティックバイオレンス）という言葉は知っている人も多いと思いますが、DVは家庭内ばかりでなく、恋愛中の男女の間でも起こります。

デートDVは結婚していない男女間での暴力の事です。暴力といっても殴るといった身体的暴力だけではなく、親密な相手を思い通りに動かす為に複合的に使われるあらゆる種類の暴力を指します。力を持って相手を支配しようとするのです。

女性の約2割、男性の1割が10～20代の交際相手からデートDVの被害を受けているという調査結果もあります。決して稀なことではありません。

デートDVは人権侵害であり、犯罪になることもあります。

暴力を受けると常にびくびくして、自分がしたいと思うことができなくなります。息苦しさや恐怖を感じたらそれは暴力です。

このままの関係を続けると今度は配偶者暴力につながっていく恐れがあります。

## こんなことをされていませんか？

### 身体的な暴力

- 殴る、蹴る、髪を引っ張る、噛む
- 物を投げつける。



### 精神的な暴力

- 大声で怒鳴ったり、殴るそぶりをして脅す。
- デブ、バカなど嫌な言葉をぶつけたり、「お前はダメだ」など人格を否定するようなことを言う。
- 大切にしているものをわざと壊す。
- 無視する。嫌がらせをする
- 携帯電話を勝手に見て、細かくチェックして行動を監視する。
- 頻りに電話をかける
- 行動や服装を制限したり、強制する
- 過剰な嫉妬から交際範囲を制限したりして、束縛する。

### 性的な暴力

- キスや性行為を強要する。
- 避妊に協力しない。中絶を強要する。
- 無理やりポルノビデオや本を見せる。

### 経済的な暴力

- お金を借りたまま返さない。
- デートの時はいつもおごらせる。
- 高額なプレゼントを要求する。



## こんなふうに思っていないですか？

### ☆「自分が悪いから仕方ない」

⇒実はそう思われているだけです。

暴力を奮われても仕方ない理由などありません。

### ☆「ちょっと嫉妬深いただけ。愛されている証拠」

⇒支配することと愛していることは違います。愛し合うということはお互いを大切にしようことです。相手を尊重しあう対等な関係が大切です。

### ☆「彼はカッとしやすいけど、冷静になると謝ってくれるし、やさしいところもある」

⇒されて嫌なことは暴力です。相手が嫌がることをした後、謝るのは当然のことです。その前にさまざまな暴力をふるうことに問題があるのです。

### ☆「暴力をふるう彼をわかってあげられるのは私しかいない」

⇒どんな場合でも暴力は許されません。暴力を否定したからといって、相手を全面否定することにはなりません。暴力を容認することは相手のためにもなりません。

## デートDVの被害にあわないために

まずは「暴力はどんなことがあっても許されない」ということ再確認しましょう。その上でされて嫌なことははっきり相手に伝えることが大切です。

けれども、「うまく相手に伝えられない」「伝えると暴力がエスカレートしそうで、身の危険を感じる」「相手のことを考えただけで息苦しくなり、怖い」など感じたら、一人で悩まず、早めに専門機関に相談することが大切です。

警視庁や各自治体にはDVの専門窓口があります。学生相談室でも相談を受けています。「恋愛のことなんて」と思わず、相談してみてください。